

21:1 また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。

21:3 私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

21:4 神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しきもなし。以前のものが過ぎ去ったからである。」

21:5 すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」

21:6 また私に言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。わたしは渇く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

21:8 しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者たちが受ける分は、火と硫黄の燃える池の中にある。これが第二の死である。」

新天新地のすばらしさがここに表されています。すべてのクリスチャンが、すなわち主イエスの十字架の救いを信じて救われた者が、ここに到達できるのです。大なる希望のゆえに喜び、感謝しましょう。

今の世では解決できない苦しみや、報われない忍耐、明かにされない誤解などがあるでしょう。しかし、それらがあることのゆえに、主が「目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる」のだと知りましょう。どんな苦しみにあっても、この希望を持ち続けましょう。

「臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者」とは、神を信じないことから来る生き方です。人である限り罪のない者はいませんが、神様を信じた者は罪を”小羊の血で”洗って白く（黙示録7:14）していただきました。ですから私たちにとっては、ここでは「神は人々とともに住み」ということが実現します。ですから私たちは地上にあっても、赦された者としてふさわしい歩みをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

